



やまもととしあき  
山本俊明議員

### 市民病院の これからは

議員 平成27年度病院事業決算によると、病院事業収益は18億7132万円、病院事業費は22億6223万円であり、計3億9090万円の純損失を生じ、28億9336万円の当年度未処理欠損金を翌年に繰り越している。市民病院の建て替えを凍結して平成29年から市民病院をどのように運営していくのか具体的な道筋をたずねる。

市長 笠岡市民病院は地域包括ケアシステムの実現を目指し、市民の生命と健康を守るために市民になくてはならない病院として存続していく。現在の経営状況のままでは、多額の費用が必要となる建て替えは凍結せざるをえない。平成29年度から4年間の計画期間で市民病院の新改革プランの策定を行っており、その中に具体的に盛り込む。病院事業管理者の招へい



による病院運営管理体制の強化、職員の意識改革、院内経営会議の活性化、プランの実施状況の点検評価などにも取り組む。

### 笠岡市公共施設等総合管理 計画の具体的な道筋を問う

議員 笠岡市公共施設等総合管理計画によると、公共施設全体の更新費用は、今後40年間で1年あたり約58億円が必要となる。現在は年間約24億円であり、およそ2・4倍が必要となるが、公共施設の維持に対する、財政を中心とする課題の進め方の具体的な道筋は。

市長 総合管理計画で目指す施設の長寿命化、統廃合、機能の複合化による総量の抑制、更新費用の縮減と平準化を実現し、次世代に過度の負担がかからないようにする。



ひがしかわさぶろう  
東川三郎議員

### 道徳を通じて人間性 と自己の確立を

議員 現在、小・中学校の道徳の時間は週1時間だが、週2時間に増やすことはできないか。

教育長 各教科等の授業時数は決まっており増加はできないが、環境美化の取り組みや地域の文化と伝統を学ぶこと等、教育活動全体を通して道徳教育の充実に向けて取り組んでいる。

議員 今の時代、インターネットでも分かる時代に必要なのは、人間性と他者とのコミュニケーションのとり方ではないか。学習指導要領に則ったマニュアルどおりの進め方で本当によいのか。人と会ったら挨拶ができ、目上の人とすれ違ったら会釈ができる、そんな人間性を養うことが道徳だと考えるのでしっかりとお願いしたい。



### 目指す市民病院の姿 と信念を示せ

議員 年間3億円もの赤字を出している現状をどう考えるか。

市長 現在の経営状況は看過できないものであり、早急にそして確実に経営改善に取り組まなければならない。

議員 市民病院はこうするんだという信念、そういう姿を見せてもらいたい。笠岡には病院が3施設、診療所は42もある。どうしても市民病院がないといけないという状況ではないと考える。

市長 経営状態を改善していく中で、あり方そのものも考えていく。議員 市役所は、市の頭脳であり、心臓でもある。職員は血液である。どうか、市民ファーストで能力を十分発揮していただきたい。